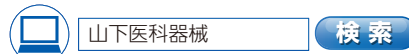


WEB サイトのご案内

トータルメディカルサポートを実現するための、相互リンクWEBサイトのご紹介です。



山下医科器械ホームページ
<http://www.yamashitaika.co.jp>



医院経営の道しるべ
<http://www.keiei-michishirube.com>



医療・介護・ヘルスケア用品専門
オンラインショップ メリケア
<http://www.mericare.net>



東手城ヘルスケアモール
<http://www.healthcare-mall.jp>

yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

山下医科器械株式会社
〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号 NOF天神南ビル6階
TEL 092-726-8200 FAX 092-726-8212

66th Business Report

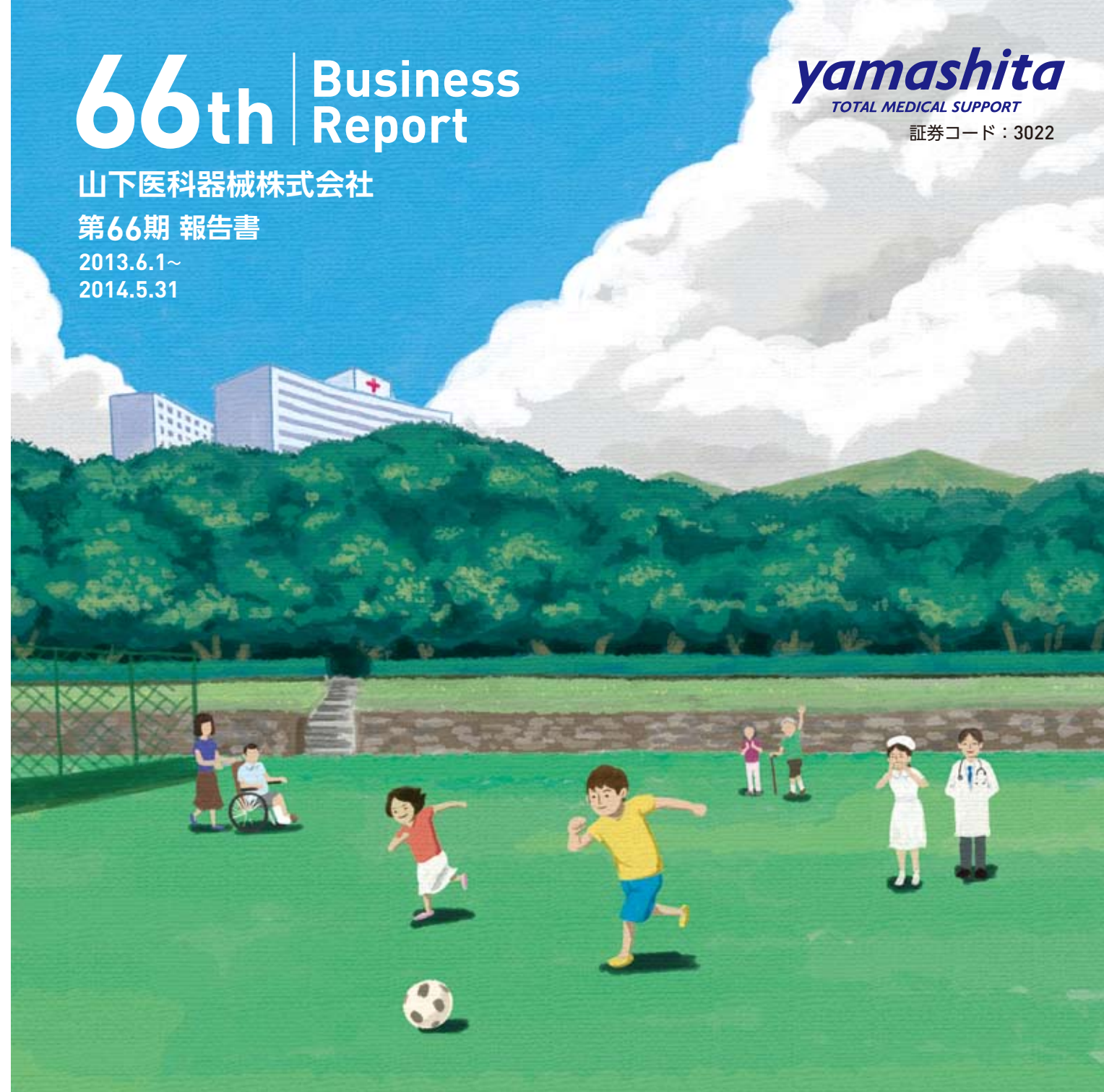
yamashita
TOTAL MEDICAL SUPPORT

証券コード：3022

山下医科器械株式会社

第66期 報告書

2013.6.1~
2014.5.31



医療現場のニーズと可能性を多角的に考察し 「トータルメディカルサポート」で地域医療に貢献いたします。

的確な診断と高度な治療、そして、安心な療養環境を求められる医療の現場。より良い環境を整えるためには、社会と時代のニーズを把握した的確な判断が必要とされています。山下医科器械は、医療機関、医療スタッフの皆様が担う使命を共有し、あらゆる要望にお応えできる「トータルメディカルサポート企業」として、地域医療に貢献していきます。

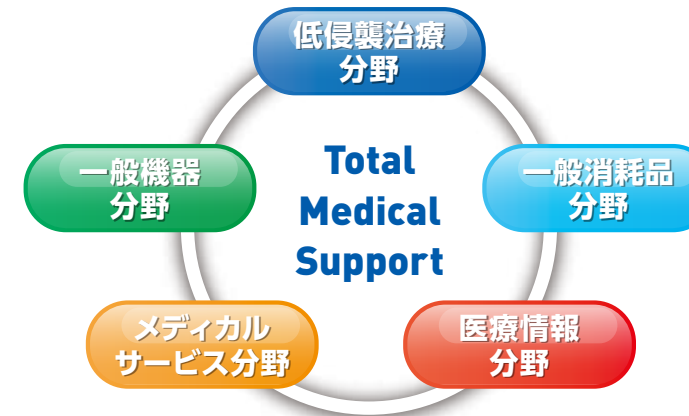
信頼のサポート

- 1 的確なレスポンスで、最新の知識・情報をいち早く提供する営業体制
- 2 製品の品質を担保し、ジャストインタイムにお届けする物流体制
- 3 ご購入いただいた医療機器等を安心してご使用いただくためのメンテナンス体制

Contents

01	社長メッセージ ～山下医科器械が目指すもの～ 山下医科器械のサポート、事業領域、行動指針を社長メッセージとともにご紹介します。	07	yamashitaの可能性 2025年にむけた医療提供体制の機能再編について、ご紹介します。
03	事業決算について 当期決算のポイント、今期経営計画の実施報告、来期の見通しについてご報告します。	09	セグメント情報 各事業分野の営業活動と売上高を併せてご報告します。
05	yamashitaの役割 yamashitaが担うもの 山下医科器械の社会的役割と、医療業界でのサポート領域をご紹介します。	11	連結財務諸表 連結貸借対照表、連結損益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書による経営成績をご報告します。
		13	株主様インフォメーション 会社概要・株式状況

トータルメディカルサポートを具現化する 当社の事業領域



前年期を上回る経営成績を残した当期。これからも時代のニーズをいち早く掴みさらに邁進してまいります。

医療業界におきましては、医療提供体制改革への取り組みとして、医療・介護の機能分化推進や病床機能の再編、在宅医療の充実、外来の役割分担等の政府方針が示されました。

当社グループが属する医療機器業界におきましては、平成26年度診療報酬改定にて、前回改定時に引き続き医療材料価格がマイナス改定となったことから、消費税への対応に加え、価格対応力の強化とコスト削減への取り組みの重要性が一層高まっております。

このような状況の下、当社グループは、福岡市内に新たなSPDセンターを開設し、SPD契約施設の増加に取り組んでまいりました。また、当期は主要取引先である急性期医療機関の施設建替えや設備更新等の大型案件が多かったことから、これに関連する医療機器更新需要や設備工事需要を取り込むべく、本部・事業所一体での営業活動を強化してまいりました。

この結果、当期の主な連結業績は、売上高510億49百万円(前期比8.3%増)、営業利益8億37百万円(前期比58.4%増)、経常利益8億26百万円(前期比39.2%増)、当期純利益5億53百万円(前期比71.9%増)となりました。

代表取締役社長 **山下尚登**

トータルメディカルサポート企業を目指し 4つの行動指針を実行しています。

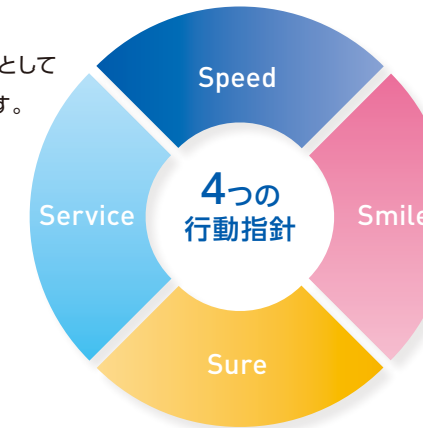
私たちはお客様の信頼にお応えするために、

【Speed】【Smile】【Service】【Sure】の

4つの行動指針のもと、

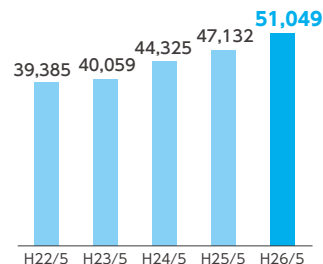
医療の未来を支える企業として

社会に貢献してまいります。

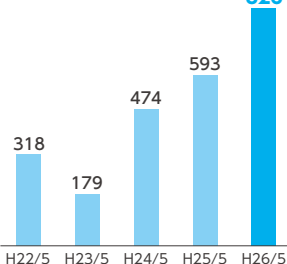


決算状況を抜粋してご紹介します。

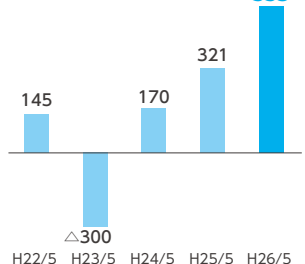
▶売上高
510億49百万円 (単位:百万円)



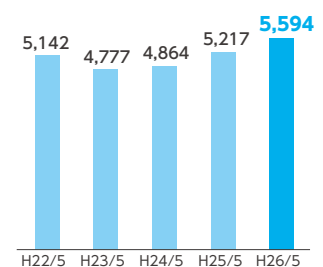
▶経常利益
8億26百万円 (単位:百万円)



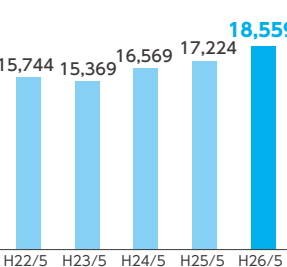
▶当期純利益
5億53百万円 (単位:百万円)



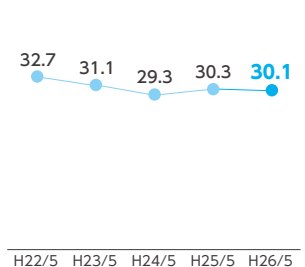
▶純資産
55億94百万円 (単位:百万円)



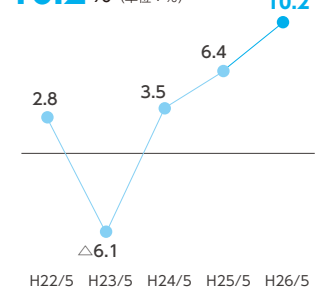
▶総資産
185億59百万円 (単位:百万円)



▶自己資本比率
30.1% (単位:%)



▶自己資本利益率(ROE)
10.2% (単位:%)



増収要因

- 診療報酬改定・消費税前の需要取り込み
- SPD契約施設数・病床数純増によるベースアップ
- 内視鏡備品や内視鏡処置用医療材料(IVE)の売上増加
- 病院建替えに伴う設備工事の受注増、新規開業取扱件数の増加
- 画像診断機器および画像情報システム、医療情報システム等の売上増加

増益要因

- 高リポート商材の積極販売による売上総利益の増加
- 従業員当たり生産性の効率化により販管費の増加を抑制

※上記数値データにつきましては、過年度訂正後の実績値でございます。

中期経営計画(平成24年5月期～平成26年5月期)総括

当社グループでは、平成26年5月期を最終年度とする3ヶ年中期経営計画において、「基盤事業の強化」「収益力改善」「人材育成と組織戦略」「グループ戦略の推進」という4つの施策を柱として掲げてまいりました。

この達成に向けて、当社グループでは、九州各県における営業網および総合医療支援企業としての提案力をフル活用して基盤事業の強化を図るとともに、物流システム・本社機能の効率化など、事業構造の改善による収益力の向上を図ってまいりました。基盤事業であるSPD事業においては、新たに「福岡SPDセンター」を開設し、重点地区である福岡県内の顧客利便性を高めるとともに、佐賀県鳥栖市の物流センターおよび鳥栖SPDセンターとの役割分担による物流網の効率化とBCP機能の強化を図りました。

また、仕入戦略推進の専門部署設置による仕入メーカーとの関係強化を図るなど、本部・営業所一体での営業活動の強化を図ると

ともに、子会社にて推進している整形事業の市場展開を一層図るなど、グループ戦略の推進にも取り組んでまいりました。

これらの取り組みにより、掲げていた計画数値目標を大きく上回る結果を残すことができました。

なお、当期の不祥事発生を受け、再発防止策を策定し、その実施状況をホームページに開示しております。当社グループでは、再発防止に向けて、全社的な管理体制の改善を図るとともに、コンプライアンス研修の強化などに全力で取り組んでまいります。

※SPD：院内物品管理システム ※BCP：事業継続計画

	目標	結果
売上高	450億円	510億49百万円
経常利益	4億円	8億26百万円

平成27年5月期 通期見通し

今後の医療業界におきましては、医療機能の分化・連携と在宅医療の充実がより一層促進されるものと思われます。医療機器販売業界におきましては、医療機関の経営改善に貢献できる提案力や高付加価値サービスの提供力が求められており、業者間の競争は一層激化するものと予想されます。

このような状況の下、当社グループは、SPD事業の拡大、物流費等のコスト削減、Web通販や子会社事業等周辺事業力の強化を図り、グループ事業の安定的成長と生産性の改善を進めてまいります。

次期におきましては、独立行政法人国立病院機構の指名停止措置が上半期中継続することや、病院の建替え等の大型の設備案件が減少すること、また償還価格の下落や消費税前の駆け込み需要の反動等の諸要因により、上記営業努力にもかかわらず、遺憾ではありますが減収減益を予想しております。

▶平成27年5月期 連結業績予想

(単位:百万円)

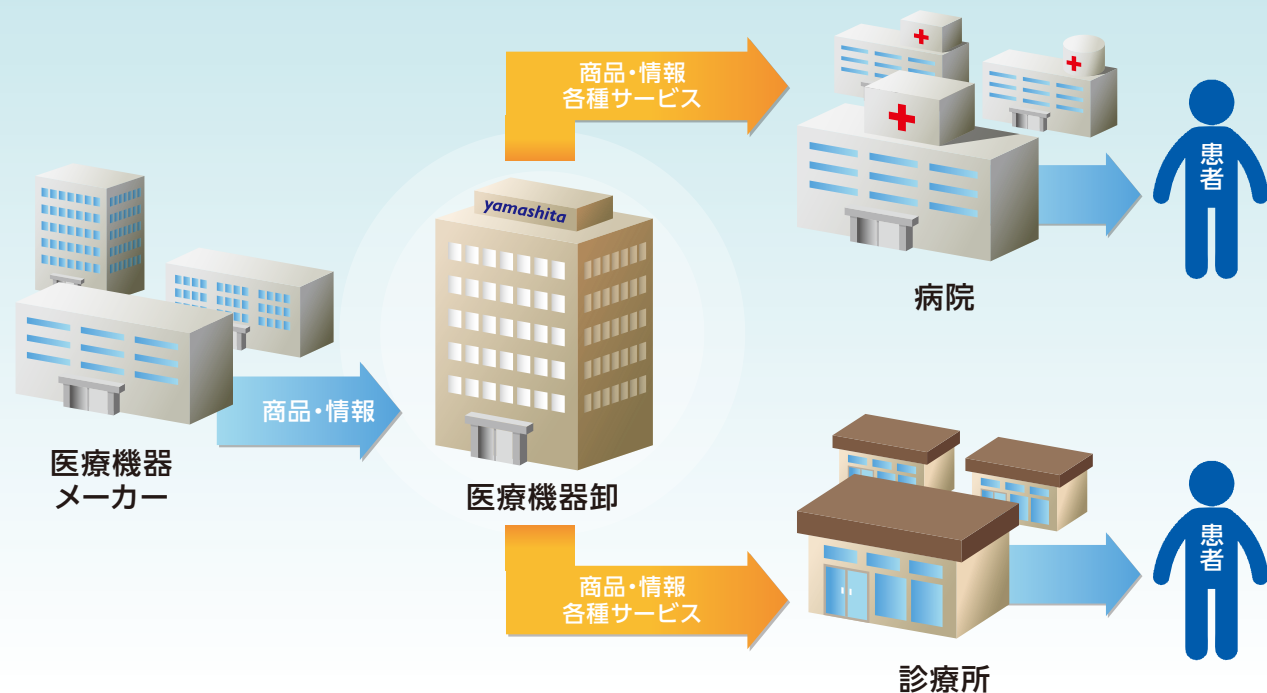
	売上高	経常利益	当期純利益
通期	46,348	311	171
前期比増減率	9.2%減	62.3%減	68.9%減

※上記の業績予想は、2014年7月11日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

患者や家族の心に そっと、寄り添う。

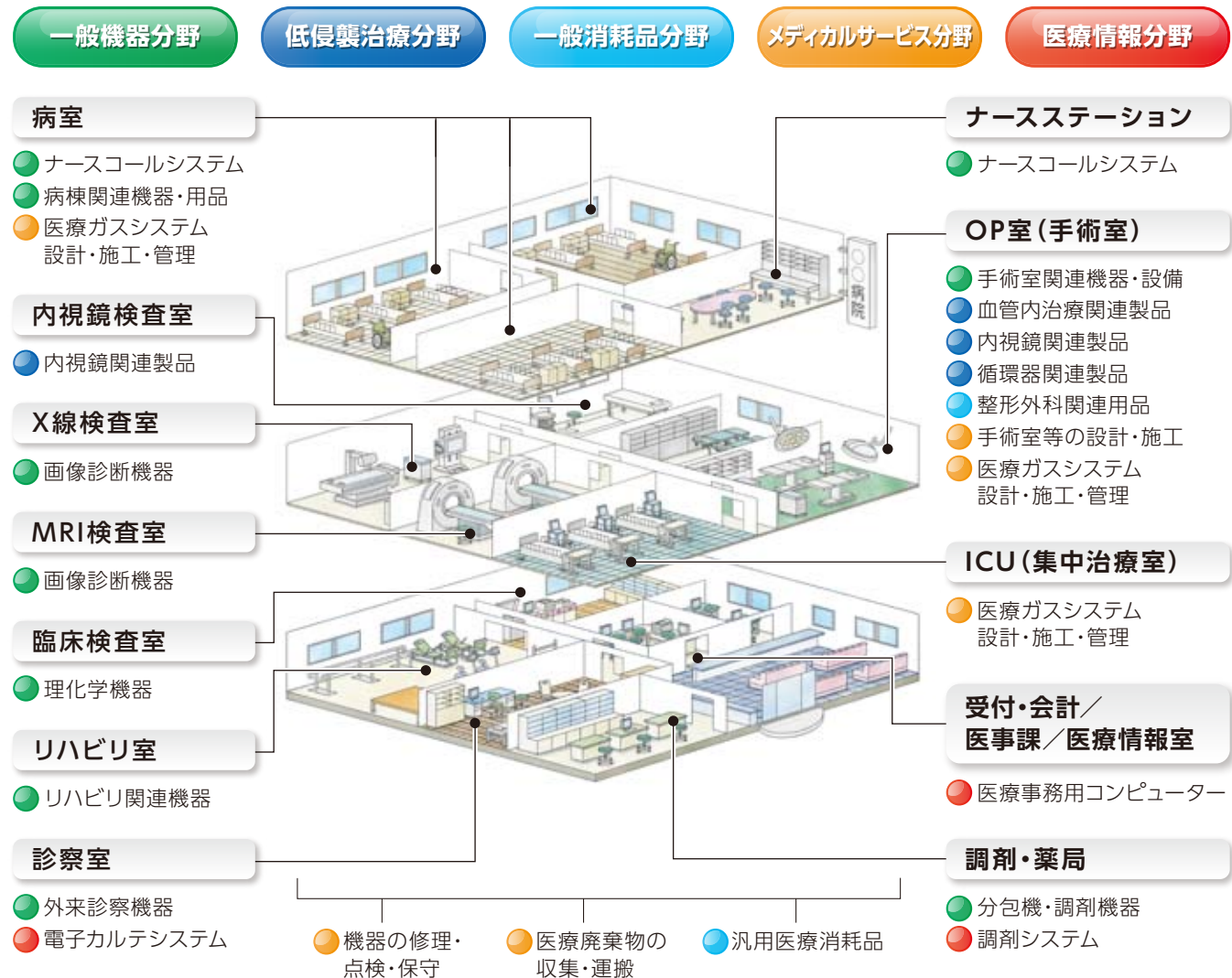
「どうすればもっと支えられるのか」常に考えている人がいる。
 「患者のそばにいる」という責任を感じている人がいる。
 人と人との見えない絆を裏切りたくないと願う人がいる。
 表舞台には立たないけれど、「命を守りたい」想いを支えることが私たちの使命。
 医療現場での“縁の下の力持ち”であり続けたい。

Yamashitaは、世の中により良い医療環境を届けるための
医療機器メーカーと医療機関を結びつけるパイプ役を担っています。



山下医科器械のサポート領域

病院、薬局をはじめ、医療業界で必要となる様々な医療機器、材料について各専門分野の知識を持つyamashitaが総合的に提案、サポートいたします。

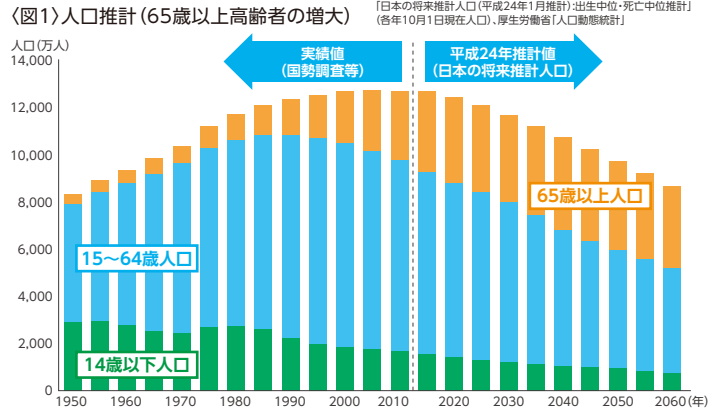


変わりゆく医療機器市場における 山下医科器械の広がる可能性。

時代とともに変わりゆく医療機器市場のニーズを捉え、私たち山下医科器械も柔軟に対応していくことが重要と考えています。

超高齢者社会に向けた 医療提供体制の変化

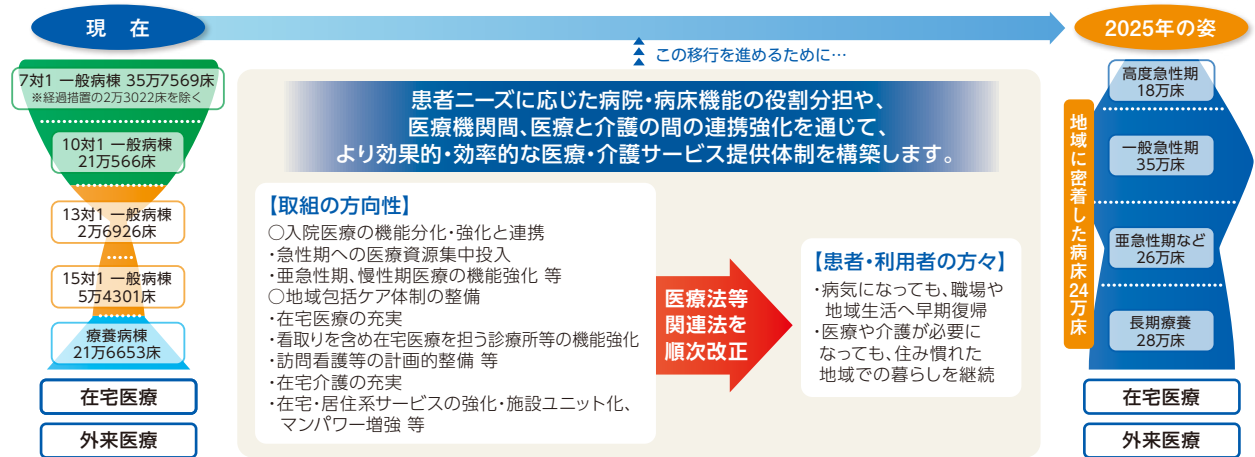
現在、日本における高齢化社会は深刻なものとなっております。(図1参照) 2010年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」では、「社会保障・税一体改革」において、2025年にむけた医療提供体制の見直しと機能再編が示されました。内容は、入院医療の機能分化と強化と連携、在宅医療の充実、そして在宅介護の充実を柱としています。今後、医療と介護の連携が強化され、入院患者へのサービスを充実させていくための整備が進められます。



医療・介護機能再編のイメージ

(図2) 2025年に向けた医療機能再編のイメージと今改定における基本的考え方

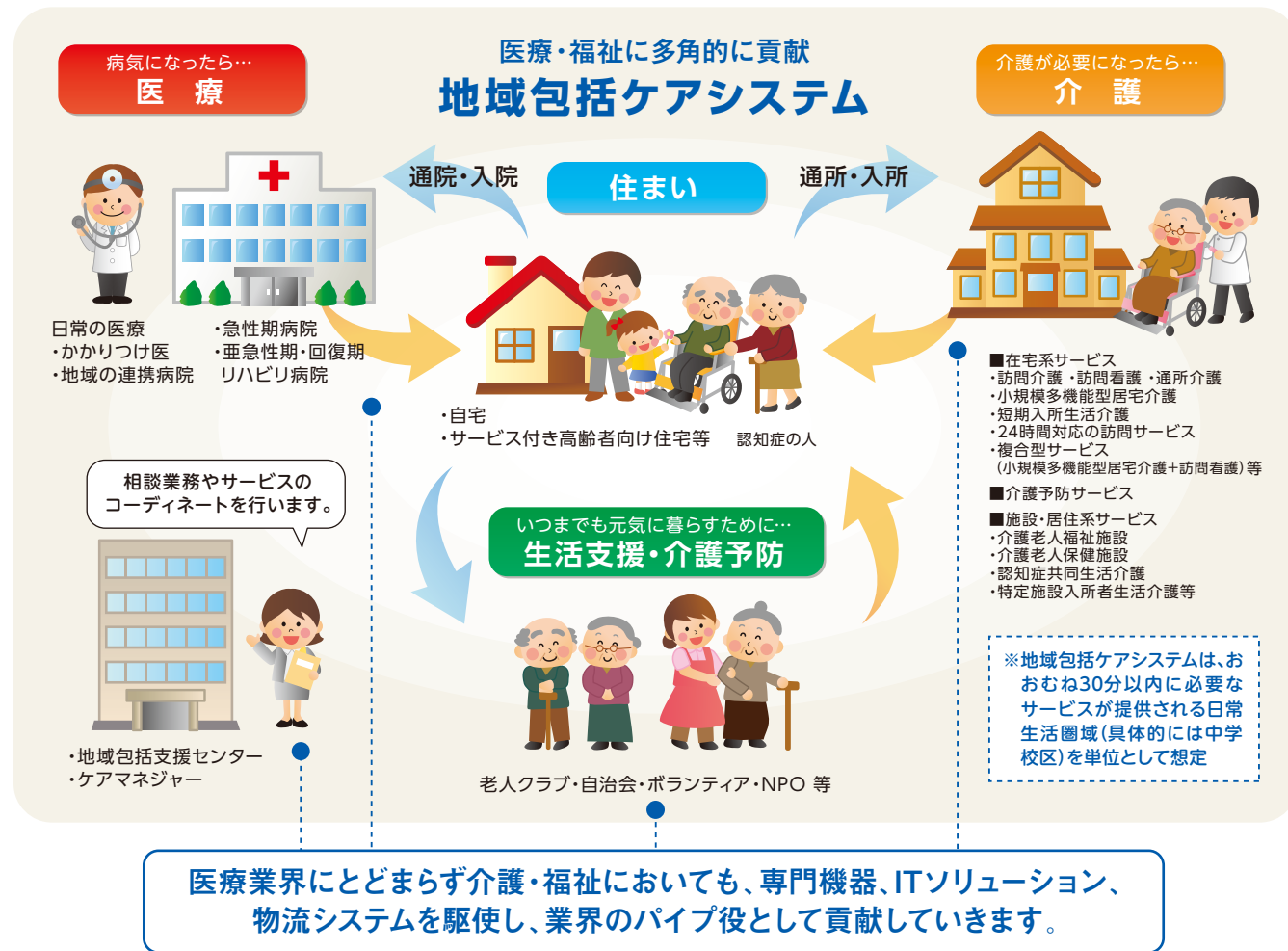
※厚生労働省資料を基に作成。「現在」の病床数は、2012年7月時点



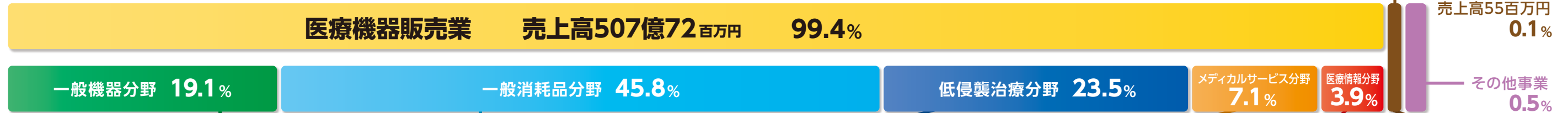
病院での治療中心から地域で連携した在宅・介護へ

ますます超高齢化社会となる今後、需要の増加する入院患者への対応を充実させるために、地域で連携した医療・介護・生活支援が一体となった機能・体制が重要となります。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、これらが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められています。



平成26年5月期 連結売上高構成比



売上高
97億56百万円
(前期比9.7%増) ↑

● 事業内容

一般機器分野は、汎用医療機器から高度医療機器まで幅広い製品を取り扱う、当社の中核事業分野です。関連する診療科目も多岐にわたり、特に整形外科関連機器や臨床検査機器等は、専門営業グループによる販売活動を行っています。

● 当期の業績

当期の一般機器分野の売上高は、病院建替えや設備更新に伴い、手術室ユニットシステムや超音波診断装置等の医療機器備品の売上増加により、97億56百万円(前期比9.7%増)となりました。

売上高
233億95百万円
(前期比3.3%増) ↑

● 事業内容

一般消耗品分野では、医療機関が使用する医療用消耗品を取り扱っています。この分野では、院内物品管理システムであるSPDの提案を進め、お客様の物品管理業務等をサポートするとともに、病院経営の効率化に貢献しています。

● 当期の業績

当期の一般消耗品分野の売上高は、SPD契約施設の増加に伴う医療機器消耗品の売上増加により、233億95百万円(前期比3.3%増)となりました。

売上高
119億53百万円
(前期比12.9%増) ↑

● 事業内容

低侵襲治療分野では、より専門性の高い治療技術が要求されます。特に内視鏡は検査・処置だけでなく治療を目的として応用範囲の拡大が予想されます。また、X線透視下での画像診断治療や循環器系治療における様々な商品を取り扱っています。

● 当期の業績

当期の低侵襲治療分野の売上高は、電子内視鏡システム等の内視鏡備品や、内視鏡処置用医療材料(IVE)等の売上増加により、119億53百万円(前期比12.9%増)となりました。

売上高
36億43百万円
(前期比1.6%増) ↑

● 事業内容

メディカルサービス分野では、病院の新規開業支援をはじめ、医療ガス配管設備工事、メンテナンスサービス、医療廃棄物収集運搬請負、CT・MRI等の画像診断装置販売、福祉介護用品販売といった広範囲のサービスを提供しています。

● 当期の業績

当期のメディカルサービス分野の売上高は、病院建替えに伴う設備工事の受注増や、新規開業取扱件数の増加等により、36億43百万円(前期比1.6%増)となりました。

売上高
20億23百万円
(前期比75.7%増) ↑

● 事業内容

医療情報分野では、医療事務用コンピュータや院内情報システムを取り扱い、医療機関に快適で信頼できる情報システムの環境をご提供しています。医療事務用コンピュータでは、販売から保守、運用など一貫したサービスを行います。

● 当期の業績

当期の医療情報分野の売上高は、医用画像情報システムや医療情報システム等の売上増加により、20億23百万円(前期比75.7%増)となりました。

売上高
55百万円
(前期比32.6%増) ↑

● 事業内容

医療モール事業では、「地域医療の発展に貢献する」という経営理念に基づき、複数の医療施設をコーディネートして提供することのできる医療モール事業「東手城ヘルスケアモール」を運営しています。

● 当期の業績

当期の医療モール事業におきましては、主として賃貸収入により、売上高は55百万円(前期比32.6%増)、セグメント損失は12百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

科目	前期	当期	
	(平成25年5月31日現在)	(平成26年5月31日現在)	
資産の部	流動資産	13,927	15,282
	固定資産	3,297	3,277
	有形固定資産	2,617	2,624
	無形固定資産	54	35
	投資その他の資産	624	616
	資産合計	17,224	18,559
負債の部	流動負債	11,749	12,628
	固定負債	257	337
	負債合計	12,007	12,965
純資産の部	株主資本	5,061	5,492
	資本金	494	494
	資本剰余金	627	627
	利益剰余金	3,941	4,371
	自己株式	△0	△1
	その他の包括利益累計額	153	100
	その他有価証券評価差額金	153	145
	退職給付に係る調整累計額	—	△45
	少数株主持分	1	1
	純資産合計	5,217	5,594
負債純資産合計	17,224	18,559	

POINT
当期決算の
ポイント

ポイント1 資産の部

当期末の総資産は、185億59百万円となり、前期末に比べて13億35百万円増加いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の増加等により、前期末に比べて13億55百万円増加し、152億82百万円となりました。固定資産は前期末に比べて20百万円減少し、32億77百万円となりました。

ポイント2 負債及び純資産の部

負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金の増加等により、前期末に比べて9億58百万円増加し、129億65百万円となりました。また、純資産は、前期末に比べて3億76百万円増加し、55億94百万円となり、自己資本比率は30.1%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

科目	前期	当期
	(平成24年6月1日から平成25年5月31日まで)	(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
売上高	47,132	51,049
売上原価	41,532	44,843
売上総利益	5,600	6,205
販売費及び一般管理費	5,072	5,368
営業利益	528	837
営業外収益	101	102
営業外費用	36	113
経常利益	593	826
特別損失	5	2
税金等調整前当期純利益	588	823
法人税、住民税及び事業税	271	369
法人税等還付税額	—	△86
法人税等調整額	△4	△13
少数株主損益調整前当期純利益	322	553
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
当期純利益	321	553

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

当期 (平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)	株主資本				その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	494	627	3,941	△0	5,061	153	—	153	1	5,217
当期変動額	—	—	△122	—	△122	—	—	—	—	△122
当期純利益	—	—	553	—	553	—	—	—	—	553
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△8	△45	△53	△0	△53
当期変動額合計	—	—	430	△0	430	△8	△45	△53	△0	376
当期末残高	494	627	4,371	△1	5,492	145	△45	100	1	5,594

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

科目	前期	当期
	(平成24年6月1日から平成25年5月31日まで)	(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	176	1,888
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△609	△157
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△61	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△493	1,608
現金及び現金同等物の期首残高	4,033	3,539
現金及び現金同等物の期末残高	3,539	5,148

ポイント3 営業活動によるキャッシュ・フロー

当期において、営業活動により増加した資金は18億88百万円(前期は1億76百万円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益8億23百万円および売上債権の減少5億52百万円によるものであります。

ポイント4 投資活動によるキャッシュ・フロー

当期において、投資活動により減少した資金は1億57百万円(前期は6億9百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億50百万円等によるものであります。

ポイント5 財務活動によるキャッシュ・フロー

当期において、財務活動により減少した資金は1億22百万円(前期は61百万円の減少)となりました。その主な要因は、株主配当金1億22百万円の支出によるものであります。

当期の年間配当金は、前期よりも8円増配となる、1株当たり56円とさせていただきます。

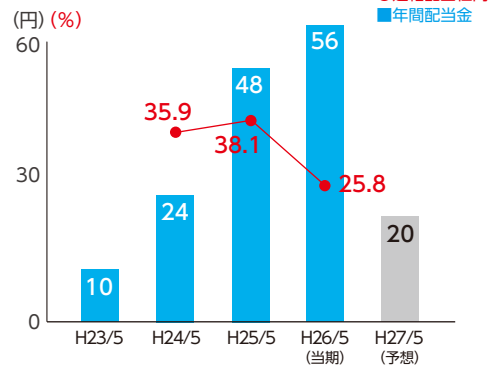
✓ 配当金の方針

当社では、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向30%を基準に、業績等を勘案して利益還元を行っております。

当期の期末配当につきましては、上記基本方針を踏まえ、連結当期純利益から過年度訂正に伴う法人税の還付額を控除した上で、連結配当性向30%にて算出した結果、前期より8円増配の1株当たり56円とさせていただきます。(なお、連結配当性向については、上記還付金を控除せずに算出した場合は25.8%となります。)

来期(平成27年5月期)の配当につきましては、上記基本方針および業績を勘案しながら検討する予定ですが、現時点におきましては、期末配当として1株当たり20円を計画しております。

配当金の推移



※平成25年5月期以前の連結配当性向については、過年度決算訂正後の実績値を記載
※平成23年5月期は当期純損失のため配当性向の算出不可

✓ 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的として、年2回、第2四半期末時点および期末時点での株主様に対して、株主優待を実施いたしております。

〈株主優待制度の内容について〉

①対象株主

毎年11月30日および5月31日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。

②優待の内容

毎年11月30日および5月31日現在の下記基準の保有株式数に応じて、当該商品を贈呈いたします。

保有株式数	優待品
100株~999株	500円相当のクオカード
1,000株~1,999株	1,000円相当のクオカード
2,000株以上	1,500円相当のクオカード

③贈呈の時期

11月30日現在の対象株主様

2月下旬

5月31日現在の対象株主様

8月下旬



会社概要 (2014年5月31日現在)

会社名	山下医科器械株式会社 YAMASHITA MEDICAL INSTRUMENTS CO.,LTD.
創業	1926(大正15)年8月
設立	1950(昭和25)年4月
資本金	4億9,402万5,000円
本店	〒857-8533 長崎県佐世保市湊町3番13号
福岡本社	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通三丁目6番15号 NOF天神南ビル6階
従業員	520名(連結)
連結子会社	株式会社イーピーメディック

役員および執行役員 (2014年8月26日現在)

役員 *印は執行役員を兼務	代表取締役社長	山下 尚登
	取締役	*吉野 敏彦
	取締役	*伊藤 秀憲
	取締役(社外)	小高 喜久夫
	取締役(社外)	古閑 慎一郎
	常勤監査役(社外)	松尾 正剛
執行役員	常勤監査役	山下 耕一
	監査役(社外)	山下 俊夫
	執行役員	吉野 敏彦
	執行役員	伊藤 秀憲
	執行役員	北野 幸文
	執行役員	嘉村 厚

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
剰余金の配当基準日	5月31日 中間配当を行う場合は11月30日
定時株主総会	毎年8月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)

株式の状況 (2014年5月31日現在)

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	2,553,000株
株主数	2,704名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山下 尚登	348,400	13.65
山下 耕一	274,900	10.77
株式会社ミック	272,952	10.69
山下 弘高	130,000	5.09
山下医科器械社員持株会	75,232	2.94
オリンパスメディカルシステムズ株式会社	60,000	2.35
スカンジナビスカ エンシルダ バンケン クライアント アカウント	49,200	1.92
株式会社親和銀行	48,000	1.88
株式会社ウイン・インターナショナル	46,500	1.82
山下 浩	43,000	1.68

*持株比率は発行済株式の総数から自己株式945株を控除した株数に対する比率を表示しております。

上場証券取引所	東京証券取引所
---------	---------

電子公告により行う
http://www.yamashitaika.co.jp
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行株式会社から特別口座の口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。